



平成30年5月11日

北海道命名150年記念「インフラ歴史ツアー」第二弾！

～インフラ整備の歴史をたどるツアーを催行する旅行会社を募集します～

北海道開発局では、北海道命名150年目を記念する取組として、インフラの歴史やインフラの効果を紹介する「インフラ歴史ツアー」を実施しています。

この度、第二弾として、『国家的一大プロジェクト「篠津泥炭地開発」と石狩川治水の歴史』をたどるツアーを実施するに当たり、ツアーを催行する旅行会社を募集します。

「インフラ歴史ツアー」は、ストーリー性を持った見学メニューや解説により、インフラの背景にある歴史やその効果を実感できるものとしています。また、北海道開発局のみならず、他の機関の施設もメニューとして提供しており、「食」や「観光」の要素も含めた幅広い内容を盛り込むことができます。

【インフラ歴史ツアー第二弾のストーリー】

篠津地域は、かつては水はげが悪く農耕が困難な泥炭地で、石狩川による水害の被害を受けてきました。本ツアーでは、篠津地域が国家的プロジェクト「篠津泥炭地開発」と石狩川の治水対策によって肥沃な農業地帯となった歴史に触れていただき、そこで穫れたお米や野菜を食し、インフラ整備の効果を五感で感じていただけるメニューをご用意しています。

記

- 1 テーマ：国家的一大プロジェクト「篠津泥炭地開発」と石狩川治水の歴史
- 2 募集期間 平成30年5月11日（金）～平成30年5月23日（水）
- 3 申込み方法等 応募要領、申込み様式、申込み先等については、北海道開発局ホームページをご参照ください。
URL：<http://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/chousei/splaat0000019k5k.html>
- 4 ツアー概要等 「篠津泥炭地資料館」や「川の博物館」などの施設見学等。
(詳細は別紙をご参照ください。)

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

開発監理部 開発調整課 開発企画官 平野 誠治（内線5472）

開発監理部 開発調整課 開発専門官 高井 敢（内線5477）

北海道開発局ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/>



○北海道命名150年記念 インフラ歴史ツアー （五感で感じよう! 篠津農地開発と石狩川治水の歴史）【概要】

ツアーテーマ 『国家的一大プロジェクト「篠津泥炭地開発」と石狩川治水の歴史』

- ◇現在、日本有数の穀倉地帯となっている篠津地域は、かつては農耕が困難な軟弱で水はけの悪い泥炭地であった。また、その地域を流れる石狩川は、度々氾濫し水害を引き起こした。
- ◇明治期からの治水対策により、石狩川流域の水害被害の軽減が図られ、水位低下により土地の排水を促進。さらに、世界銀行の融資を受けて行われた国家的プロジェクト「篠津泥炭地開発」による排水・灌漑施設等の整備により、農地の基盤が築かれた。
- ☆実際に現地を巡りながら、泥炭地の開発や石狩川の治水事業の歴史に触れ、安心して生活し、農業ができるようになり、美味しいお米や野菜が穫れる肥沃な農業地帯となった地域の成り立ちを学ぶことで、インフラ整備の効果を実感できるツアー。

催行予定

平成30年7月、8月、9月の各月1回(全3回)【土日祝日可】(日程は調整の上決定)

ツアー定員

各回 20名

諸条件等

- ツアーを企画する際は、「メニューリスト」から自由に選択いただけます(ただし、★印のメニューは必須とさせていただきます)。この他にもグルメ、観光スポットなど行程に組み入れていただけます。
 - 「Ⅰ 篠津泥炭地開発の歴史」の「篠津泥炭地資料館」では、篠津中央土地改良区職員が解説します。「月形樺戸博物館」では、名誉館長(前月形町長)が解説します(名誉館長不在時は館長が解説)。その他の施設では、北海道開発局職員等が解説します。
 - 「お米」の試食では、泥炭地開発によってもたらされた農地で収穫されたお米で作った「おにぎり」を味わい、インフラ整備の効果を実感していただきます。
 - 「Ⅱ 石狩川治水の歴史」の「川の博物館」又は「江別河川防災ステーション」では、船に乗り、旧石狩川もしくは、現在の石狩川を船上から見学することができます。(天候、水位等の条件によっては運行を中止することがあります。)
- ※月形樺戸博物館の見学及びお米の試食にはそれぞれ料金がかかります。
 ※催行に当たり、北海道インフラPR実行委員会による支援を受けることができます。
 ※この他の詳細については、催行応募要領をご参照ください。

メニューリスト

Ⅰ 篠津 泥炭地 開発の 歴史	1 篠津泥炭地資料館(★)	(泥炭地農地開発の歴史解説・資料見学)	(所要目安30分)
	2 石狩川頭首工	(管理棟で頭首工の役割等解説・見学) (頭首工上部に上がり施設を見学、管理歩廊から石狩川を眼下に見る)	(所要目安20分) (所要目安20分)
	3 篠津運河	(真っ直ぐに造られた運河を橋上から見学・解説)	(所要目安20分)
	4 月形樺戸博物館	(「監獄開拓」の歴史解説・資料見学)	(所要目安40分)
	5 「お米」の試食	(篠津地域で穫れたお米を味わう)	(所要目安40分)
地元のお米や野菜を用いた昼食(★) (地元自治体や関係団体と調整が可能。食の専門家からのアドバイス等の支援。)			
Ⅱ 石狩川 治水の 歴史	6 幌向地区自然再生地	(実際の泥炭地を見学。生きている泥炭地で「プロポヨの大地」を体感)	(所要目安20分)
	7 川の博物館 又は 江別河川防災ステーション(★)	(石狩川の治水の歴史「泥炭との戦い」解説・見学)	(所要目安40分)
	8 石狩川船上見学(2班交替)	(船上から旧石狩川や現在の石狩川を見学)	(所要目安40分)

○見学可能な施設



篠津運河



石狩川頭首工



月形町HPより

月形樺戸博物館



篠津泥炭地資料館



江別河川防災ステーション

国土地理院地図



川の博物館



調査船「弁天丸」



幌向自然再生地